

令和4年度 環境保全報告書

令和5年6月

川崎重工業株式会社 神戸本社

1. 2022年度の重点取組目標・計画の実施状況

- ① 電力使用量の削減:原単位の目標をテナントフロア拡張に伴い、0.48 千 kWh/人に修正しました。実績は照明の不要時の消灯や OA 機器の省エネ設定等を行い、電力使用量は 237 千 kWh、原単位は 0.49 千 kWh/人となり、目標未達となりました。

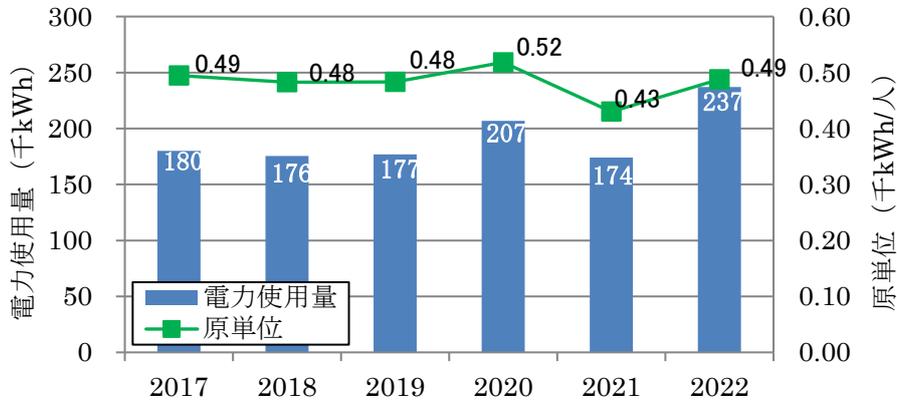


図 1. 電力使用量と原単位の推移

- ② 紙使用量の削減:適正なプリント出力・裏紙使用・両面印刷の推進、ペーパーレス会議の実施、決裁の電子化、部署ごと使用量の見える化、リモートワーク普及に伴う仕事の進め方の変化等により、原単位比較で減少しました。紙使用量の増加は従業員数が増加したためと考えます。



図 2. 紙使用量と原単位の推移

- ③ 廃棄物量の削減:分別廃棄を徹底しリサイクルを推進する対策を行い、廃棄物量は昨年度実績より減少し 18.1 トンとなりました。コロナ禍前の水準よりも原単位が低くなっており従業員の廃棄物に対する意識が向上しているものと考えます。

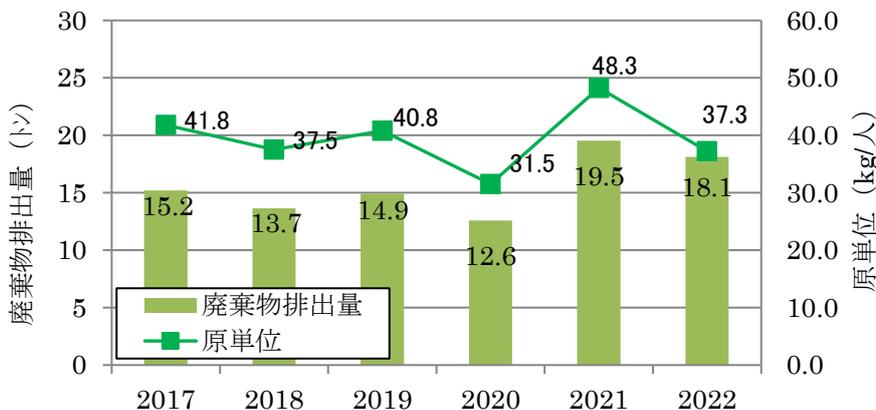


図 3. 廃棄物量と原単位の推移

2. 地球温暖化対策に係る計画

当社は、「Kawasaki 地球環境ビジョン 2050」、「グループビジョン 2030」を策定し、2030 年におけるカーボンニュートラルおよび 2050 年における廃棄物や有害化学物質排出のゼロ化など、従来の環境保全に関する基本方針よりもハードルの高い目標を設定しました。このうち2030年におけるカーボンニュートラルは政府目標よりも20年前倒しとする野心的な目標であり、この実現を目指し全社を挙げて水素自家発電による電力供給、省エネ、再エネ導入、自社保有小売電気事業者からのクリーン電力購入などを実施します。

神戸本社では、各事業部門の省エネに対する助言や指導を行うとともに、オフィスにおける省エネとして節電活動を実施します。主な対策および CO₂ 排出量と原単位の推移は以下の通りです。なお、2021 年 7 月より神戸本社で使用する電力を自社保有小売電気事業者から供給されるクリーン電力に切り替え、電力使用による CO₂ 排出量がゼロになりました(2022 年 7 月に見直し)。また、電力使用量と原単位の目標について、2023 年度は2022 年度実績を基に神戸本社におけるレイアウト変更や入居部門増加を考慮し設定しました。

- ・朝の清掃時の節電活動
- ・パソコン・コピー機など電子機器の節電設定の徹底
- ・通路や予備座席等における不要電源の消灯
- ・トイレの未使用時の消灯
- ・昼休みの一斉消灯
- ・定時退場日の徹底
- ・定時後の部分消灯の徹底
- ・エレベーターホールの光量調整
- ・節電ポスターの表示による意識啓発
- ・離席時、パソコンのディスプレイ電源 OFF

表 1. CO₂ 排出量と原単位等の推移

項目	単位	2017	2018	2019	2020	2021	2022	目標
電力使用量	千 kWh	180	176	177	207	174	237	238
排出係数	t-CO ₂ /千 kWh	0.493	0.418	0.334	0.318	0.351 / 0	0/0.311	
CO ₂ 排出量	トン	89	73	59	66	18	56	
人数	人	364	364	366	399	405	486	493
原単位	千 kWh/人	0.49	0.482	0.483	0.52	0.43	0.49	0.49

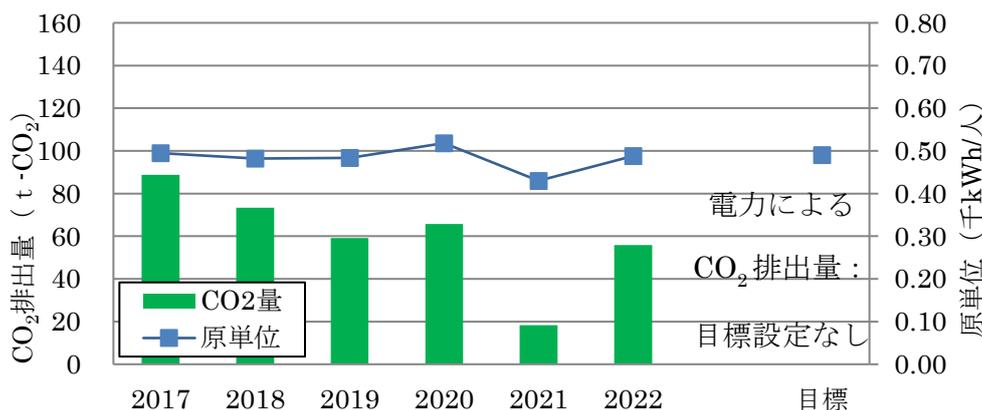


図 4. CO₂ 排出量と原単位の推移

3. その他の活動報告

神戸本社ビル周辺の清掃活動、兵庫県多可町と小野市における企業の森づくり活動、鹿肉(ジビエ)弁当の社内提供、クールビズ&ウォームビズ活動、神戸環境マネジメントシステム(KEMS)の認証取得*を実施しています。

*認証取得の証票として KEMS 登録証を添付します。

KEMS

神戸環境マネジメントシステム

登録証

川崎重工業株式会社 神戸本社

神戸市中央区東川崎町1丁目1番3号



登録範囲 上記登録組織全域における本社業務の全ての事業活動

登録番号 KEMS1-0071 KES1-4-0071

登録日 2005年3月24日 有効期限 2026年3月23日

貴組織は KEMS ステップ1 の環境マネジメントシステム審査の結果
上記の範囲において規格に適合していることを証します

2023年3月29日

こうべ環境フォーラム
代表 内藤 正

